

コベルコ建機

適用範囲		型式		SK210DLC	SK210DLC	SK210DLC	SK235SRDLC
仕様	最大高さ		mm	13.880	15.350	15.220	13.870
	ブーム及びアーム収納			2 折れ	2 折れ	3 折れ	2 折れ
ブーム及びアーム	基本ブーム		m	7.66	9.1	7.3	9.1
	第二ブーム		m			2.3	
	第三ブーム		m				
	第一アーム		m	4.9	4.9	4.4	4.9
区分	検査箇所	検査項目 (条件)	単位	検査基準値			
安全装置	作業範囲規制装置 (図 3-2 参照)	警報装置の仕様		警報型	警報型	警報型	警報型
		警報鳴作業半径	mm	7.500	8.500	8.500	7.500
		警報鳴作業半径 (縦向)	mm	7.500	8.500	8.500	7.500
	ブーム降下 防止装置 (図 3-1 参照)	ブームシリンダーA					
		伸縮量	mm	4.2	4.2	3.0	4.2
		測定時間	分	5	5	5	5

特定解体用機械

SK235SRDLC	SK235SRDLC	SK260DLC	SK260DLC				
14.900	15.220	15.350	14.900				
3 折れ	2 折れ	2 折れ	3 折れ				
3.0	7.3	9.1	7.3				
3.75	4.69		2.3				
2.3							
4.4	4.9	4.9	4.4				
検査基準値							
警報型	警報型	警報型	警報型				
7.500	7.500	8.500	7.500				
9.000	7.500	8.500	9.000				
3.0	3.0	4.2	3.0				
5	5	5	5				

1. シリンダー伸縮量の測定

(1) 狙い

ブームの降下量（ブームシリンダーの伸び・縮み量）を測定することで『ブーム急降下防止弁』が確実に機能していることを確認する。

(2) 測定条件

- ①作動油の温度は 45℃～55℃で測定すること。
- ②水平堅固な平坦地であること。
- ③シリンダー交換直後は、シリンダー内のエア抜き後に実施すること。
- ④アームシリンダーは、ストロークエンドから 60mm 動かした状態（クッション範囲を外すこと）

(3) 測定姿勢

- ①アタッチメント装着無し
- ②バケットシリンダーは、固定する。
- ③アームシリンダー最縮から伸びた位置、バケットシリンダー最伸でブームフットピンとアームフットピンが一致する高さで保持させる。

(4) 測定

- ①エンジンキーOFF 後、5 分間経過時を測定すること。
- ②ブームシリンダーの測定位置Aを測定する。

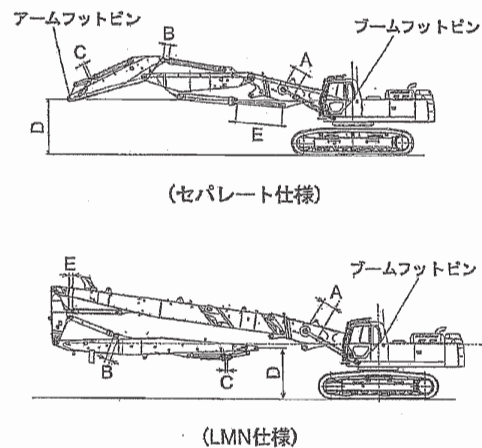


図 3-1 シリンダーの伸縮量測定

2. 作業範囲制限装置の確認

図に示す様にこの場合はブーム及びアーム角度に関わらず、解体具の先端がベースマシンの旋回中心から 7.5m の位置に動かしたとき作業範囲規制装置の警報音を確認する。

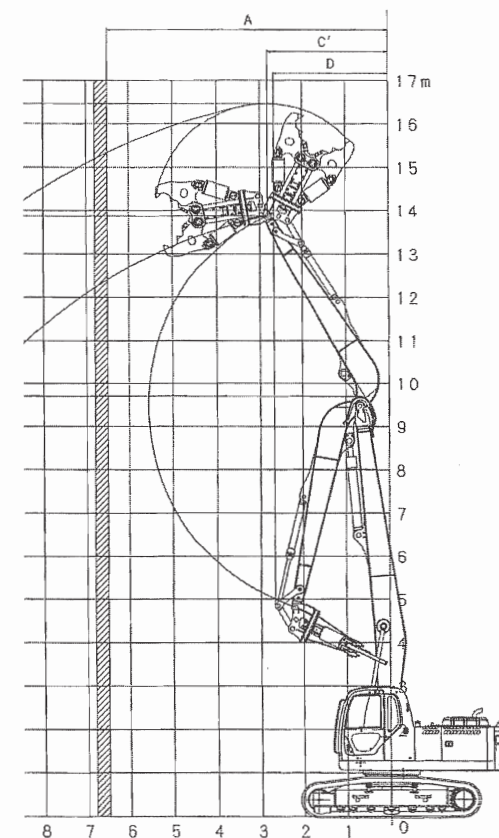


図 3-2 作業範囲制限装置の確認